



Excellent Performance

細胞増殖性が優れており、培地の長期安定性・高密度培養に最適な製品

Application

再生医療・CDMO・アカデミア研究等で実績あり（関連論文出稿済）

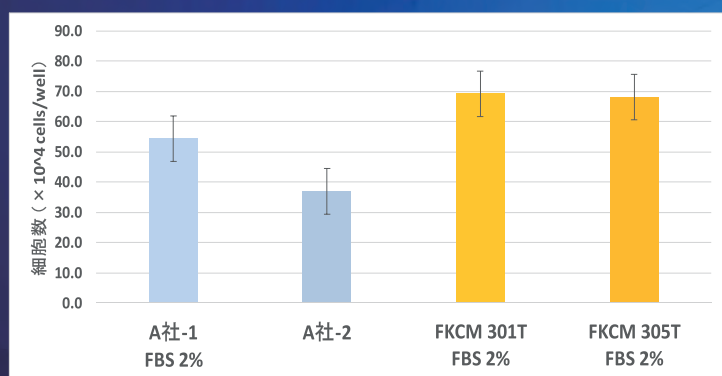
Formulation Technology

独自配合技術でロット間差が小さく、付加価値カスタム組成相談が可能

Authorized / Management

- ・米国DMF登録、適格性相談確認書、MF登録
- ・GMP準拠体制、ISO 9001、140001等

※製品詳細は裏面2次元バーコード参照



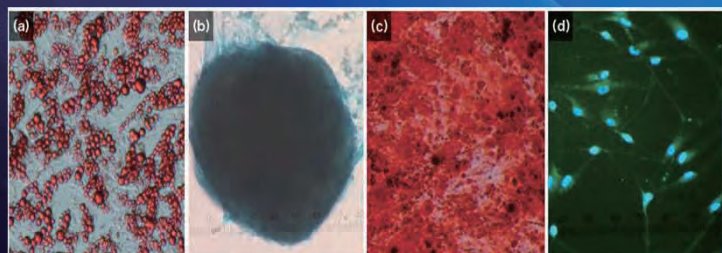
【ヒト脂肪由来間葉系幹細胞の培養比較】

<条件>

- ・使用細胞 : ヒト脂肪由来間葉系幹細胞
- ・培養日数 : 3日間
- ・培養容器 : 6 well plate
- ・播種細胞数 : 5000 cells/cm²

<結果>

- ・フコク培地と他社培地で、細胞増殖性の比較試験を実施。結果、フコク培地の方が、増殖性において27%優れている。
※血清などの少量添加により、添加剤コスト削減に貢献



【FKCM 301Tで培養した細胞（5継代培養）の分化誘導試験】

- (a) : 脂肪分化誘導後14日目の細胞（Oil Red O 染色）
- (b) : 軟骨分化誘導後14日目の細胞（Alcian Blue 染色）
- (c) : 骨芽分化誘導後14日目の細胞（Alizarin Red S 染色）
- (d) : 神経分化誘導後14日目の細胞（β-III-tubulin/HLA493抗体/Hoechst33342核染色）

SphereRing® (細胞スフェロイド形成容器)



バッグの特長

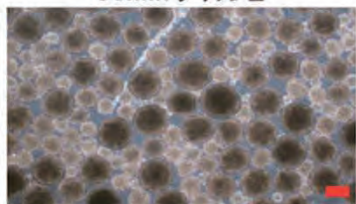
- ・細胞スフェロイドの大きさがほぼ等しく、均質な細胞を形成できます。
- ・穏やかな旋回培養により細胞へのシェアストレスを抑制します。
- ・フィルムの透明性が高く、顕微鏡観察が可能です。
- ・高ガス透過性フィルムの採用により、閉鎖型培養が可能です。
- ・フコク細胞回収システムとの組合せにより、細胞回収までのコンタミリスクを低減します。

iPS細胞での培養実績

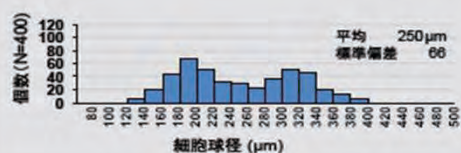
- ・ディッシュによる振とう培養と比較し、均一な径の細胞スフェロイドが作製できます。
- ・ドーナツ型バッグを用いることで細胞球形のばらつきを抑制し、均一な細胞凝集塊を作製できます。

細胞凝集体形態および球径ヒストグラム

90mm ディッシュ

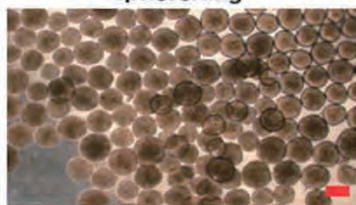


Bar=200 μm

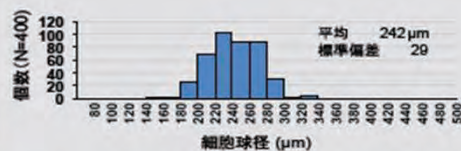


Cell: TkDN4-M(human iPS cell)
Medium: Essential8(Thermo Fisher)
Seeding density: 2.0×10^5 cells/mL
Volume: 20 mL
Agitation: 50rpm
培養日数: 4日間
個数: 約4000個のスフェロイドを形成

SphereRing



Bar=200 μm



ビデオ論文 (製品使用時ご参照ください)

<https://www.jove.com/video/57922>

Horiguchi, I., Suzuki, I., Morimura, T., Sakai, Y. An Orbital Shaking Culture of Mammalian Cells in O-shaped Vessels to Produce Uniform Aggregates. J. Vis. Exp. (143), e57922, doi:10.3791/57922 (2019).



【東京大学 工学系研究科 化学システム工学専攻 酒井研究室ご提供】



フコク製品の詳細は「当社製品2次元バーコード」ページへ

多くの実績がある ヒト細胞培養培地	・ヒトT細胞活性化及び拡大培養液体培地 ・ヒト線維芽細胞用無血清培地 ・間葉系幹細胞用無血清培地 等
コンタミ配慮した 閉鎖系バッグ容器	・細胞培養バッグ ・培地運搬バッグ ・細胞凍結保存バッグ ・細胞スフェロイド形成容器 ・システムバッグ 等
その他取扱製品	・増殖促進用サプリメント ・細胞分離キット ・細胞剥離用酵素、細胞凍結保存液 等



当社製品2次元バーコード

